

子供施策に関する子供・若者の意見募集の結果について

1 趣旨

こども基本法の基本理念等を踏まえ、県の子供施策の策定、実施、評価にあたって、子供・若者の意見を反映等するために実施した意見募集の結果等について報告する。

2 背景

こども基本法では、第11条において、国や地方公共団体の役割として、子供施策の策定、実施及び評価の過程で、子供・若者や子育て当事者等の意見を反映させるために必要な措置を講ずることが義務付けられている。

県においては、令和6年度に子供・子育てに係る分野別計画である「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」（以下「プラン」という。）を子供・若者の意見も踏まえて策定したところであるが、この度、プランの進捗状況の評価及び今後の施策を検討するにあたって、子供・若者の意見を募集した。

3 WEBアンケートによる意見募集

（1）意見募集の概要

ア 募集内容

プランの内容を子供・若者へわかりやすく伝えるため、主な内容をやさしい表現で記載した「やさしい版」に対する意見を募集

イ 募集方法 県ホームページにおいて募集

ウ 募集期間 令和8年5月1～31日（「春のこどもまんなか月間」に合わせて実施。）

（2）意見の概要

ア 回答人数 29人（10代：22人、20代：3人、30代：4人）

イ 意見の内容

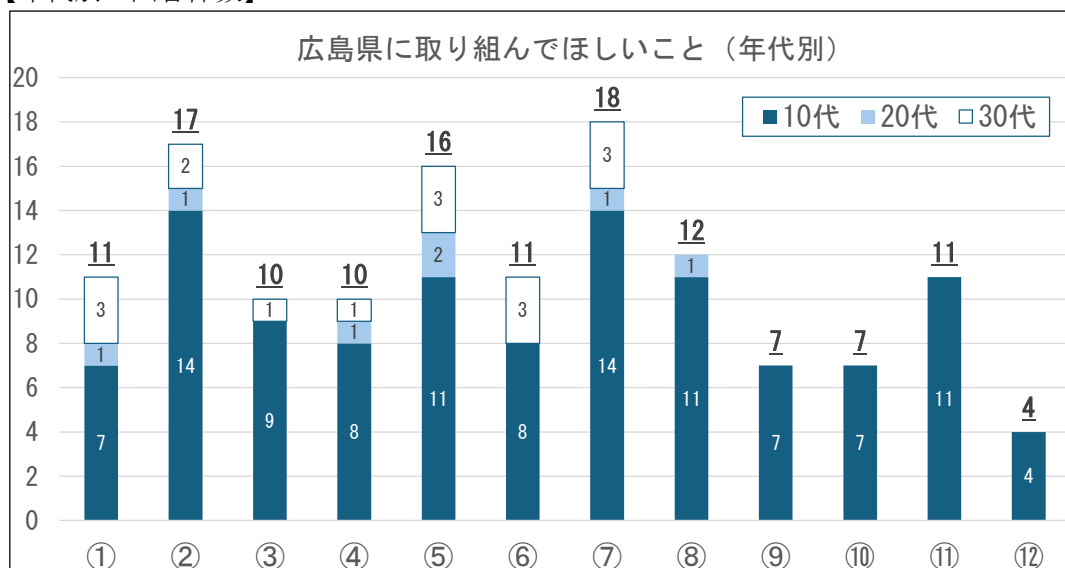
（ア）広島県に取り組んでほしいこと

「やさしい版」に記載している「広島県が取り組むこと」を選択肢とし複数回答可とした。

【選択肢ごとの回答件数】

選択肢	件数
① 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育のこと	11
② 将来社会で活躍するために必要な力をつけること	17
③ 仕事や結婚、妊娠・出産の希望を叶えること	10
④ 妊娠中から子育てのサポート	10
⑤ 子供たちの悩みの解決や居場所づくり	16
⑥ それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること	11
⑦ 子供と子育てにやさしく安全なまちづくりのこと	18
⑧ 子供たちを虐待から守ること	12
⑨ 家族と暮らすことができない子供のこと	7
⑩ ひとり親の子供やその家族のこと	7
⑪ 障害のある子供とその家族のこと	11
⑫ その他	4

【年代別の回答件数】



(イ) 広島県に取り組んでほしいことを選んだ理由

※ 自由記述の内容については、原文を一部整理した上で、主なものを記載

選択肢	選んだ理由（自由記述）
① 0才から小学校に入るまでの子供の教育や保育のこと	・補助金等の支援が欲しい。(14歳) ・保育士という立場で、子育てや子どものことについて身近だから。(23歳)
② 将来社会で活躍するために必要な力をつけること	・必要な力を身に付けたいから。(14歳)
③ 仕事や結婚、妊娠・出産の希望を叶えること	・子供達や子供達の未来をつくる人たちを支援したほうがいいと思ったから。(14歳)
④ 妊娠中から子育てのサポート	・妊娠中の方はとても大変だから。(14歳)
⑤ 子供たちの悩みの解決や居場所づくり	・共働きが多いので、(親が)家においてあげられる環境を作る。(26歳) ・児童館など、子供が自由に集まることのできる場所を増やしてほしい。(30歳) ・もっと相談しやすい場所があればと思う。(14歳) ・子供はすぐ悩みを抱えてしまうので、無料で気軽にいつでも相談できるところがいいと思う。(15歳) ・雨の日に遊べる場所やボール遊びもできる自由な場所が欲しい。(11歳、16歳)
⑥ それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること	・共働きが主になっている時代で、小学校の入学のタイミングで仕事をやめたり、働き方を変えたりせざるを得ないことが多く、特に母親の負担が多いと思う。(26歳) ・支援センターの拡大や、親子教室、遊びやすい公園の設立など、家庭での時間を増やせる政策を考えて欲しい。(30歳)
⑦ 子供と子育てにやさしく安全なまちづくりのこと	・子供達が健全な遊びに触れて成長できるように地域の交流館を有効活用してほしい。(30歳) ・不審者対策として、学校への防犯カメラ追加を促進してほしい。(34歳) ・みんなが安心して過ごせるようにしたいと思ったから(14歳) ・子供達が過ごしやすい世の中を経験し、未来への道を作る補助をしてほしい。(20歳)
⑧ 子供たちを虐待から守ること	・みんなが楽しく元気に過ごせるといいと思うから。(14歳)
⑨ 家族と暮らすことができない子供のこと	・家族と一緒に暮らしたほうがいいと思ったから。(14歳)
⑩ ひとり親の子供やその家族のこと	・もっと子供のために使うお金がほしい。(14歳)
⑫ 障害のある子供とその家族のこと	・一人ひとり、得意なことや学びやすい方法が違うと思う。弟もやり方を変えれば理解できることもあるのに、みんなと同じやり方でできず、自信をなくしているので、みんなが同じやり方で勉強するのではなく、その子に合った学び方を選べる学校になってほしい。(14歳)
⑬ その他	・広島にはこんなにもいい場所があると思うので、いまの中高生に魅力を伝える。(15歳) ・子供についてもっと力を入れてほしい。(14歳)

(ウ) プラン〔やさしい版〕を読んで思ったこと（自由記述）

※ 自由記述の内容については、原文を一部整理した上で、主なものを記載

回答
・分かりやすく書いてあっていいと思った。(11 歳、14 歳) ・みんなで協力していい未来を作りたいと思った (14 歳) ・たくさんあってすごいと思った。(14 歳) ・県もたくさんの対策をとっていることが分かった (14 歳) ・将来に役立ちそうだった。(14 歳) ・子供に優しいと思った。(14 歳) ・少子化対策、幼児期における取組、子供と若者を守る取組に力を入れることが大切だった。(14 歳) ・すごく読みやすいと思った。でも、これを作っている人たちは、逆にどのようなことをしようとしているのかの具体例を出してほしい。(15 歳) ・子供達に向けても発信できていいと思う。(21 歳) ・次世代育成や、子育てを明るいものにしようとする思いが伝わる。(23 歳)

(エ) 子供・子育てに関して、思ったことや感じていること（自由記述）

※ 自由記述の内容については、原文を一部整理した上で、主なものを記載

回答
・少子化対策には出産の時だけでなく、その後の育てるための資金など、問題はまだまだ多いと思う。夫婦で働きながら不安なく過ごせるような時間の確保や、気軽に働ける仕組みを作してほしい。家事を頼める人を少ない費用で頼めることや、宅配サービスの援助などもあっていいと思う。子供の急な体調不良や、父親の頼りなさなども大きな問題で、父親の協力も必要なため、家事力などの向上が当たり前になってほしい。(34 歳) ・親が楽しく子育てすることも大切だが、今の社会は子供と親を離す政策が多い。子供からしたら、小さいうちは親子での時間がとても大切。一馬力でもゆとりがある生活を送れる政策をお願いしたい。(30 歳) ・共働きが多く母親の負担が多い。だから子供が増えない。正社員でも勤務時間を短くし(特に小学校卒業まで)手取りを増やすことが大切。(26 歳) ・子育ては大変そう。(14 歳) ・子供を産む時には子供を幸せにする責任を取る覚悟が必要だと思う。(14 歳) ・子育てしやすい世の中だといいなと思う。(14 歳) ・少子高齢化が進んでいることもあって、医療や福祉面は充実しているが、子供達について少しおざなりになっている部分があるのではないかな。子供にもそれぞれ考えがあり、未来を築くのは子供達であり、そんな子供達にすくすく育ってほしい。(21 歳) ・子育ての大変さを実感するとともに子供が成長していく姿を見て感動している。仕事と子育てと家事のバランスや両立の大変さを実感できて、貴重な経験ができています。子育てに対する施策などを策定するときは仕事と子育てと家事の全てを協力的な人に策定していただきたい。そうすることで、より家庭に寄り添った施策を練れるのではないかな。(30 歳) ・子供が夢中になって遊んだり、取り組んでいる「普段の」「ありのままの姿」の中の、その子の成長や輝きを見逃さずに捉えて、育てていきたい。(23 歳)

4 子供・若者と直接接する機会における意見募集

(1) 意見募集の概要

ア 募集内容 WEBアンケートによる意見募集と同様

イ 募集方法

子供未来応援課で実施した広島県庁仕事体験に参加した6名の大学生から意見を募集

(2) 意見の概要

ア 広島県に取り組んでほしいこと

【選択肢ごとの回答件数】

選択肢	件数
④ 妊娠中から子育てのサポート	1
⑤ 子供たちの悩みの解決や居場所づくり	1
⑥ それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること	4
⑧ 子供たちを虐待から守ること	1
⑩ ひとり親の子供やその家族のこと	1

イ 広島県に取り組んでほしいことを選んだ理由

※ 自由記述の内容については、原文を一部整理した上で、主なものを記載

選択肢	選んだ理由（自由記述）
⑤ 子供たちの悩みの解決や居場所づくり	・特に強く希望するのは、子供達の悩み解決や居場所作りに関することである。小学校、中学校の頃から悩みを聞いてくれる組織や存在があることは知っていたが、当時の自分がもし何かで困っていたとしても電話をするという行動は少し難しかったように思う。今の時代、SNSが普及し小さい子供や若者も悩みや相談をネットに投げかけることも増えていると思う。気軽に相談ができるのは良いことだが、あまりふさわしくない回答やアドバイスも多いため、相談した子供に悪影響があることが問題だといえる。
⑥ それぞれの働き方や生活に合わせて子育てできる社会にすること	・どうしても迎えに来ることができない家族に向けて、子供の送迎をしたり、保育の時間を延長したりしてほしい。 ・共働きやひとり親、夜勤がちな働き方をしている親などが、社会の中には多くいると思うため、そういった家庭の子供たちが金銭面や生活面、愛情面で寂しかったり苦しかったりする思いをしないような取組をしてほしい。例えば、企業に協力してもらって残業を減らしたり、リモートワークやフレックス制度を取り入れることを多くしてもらったりするなどして、子供が親と離れてしまう時間が少なくなるような政策をしてほしい。 ・将来子供ができた際は仕事も続けたいと考えているため、育休がとりやすい社会だと働きやすく、ワーク・ライフバランスを実現しやすいと感じた。 また、女性だけではなく、男性も育休が取りやすい環境だと育児が女性だけに偏りにくく、男性も育児に参加しやすくなると思った。 ・人それぞれ働き方や生活スタイルが異なると思うので、すべての人が安心して、できるだけ精神的・身体的な負担なしに子育てができる社会の実現ができたらいと思った。気軽に相談できる環境づくりや、早朝から夜遅くまで子供を預けることができる保育所があればよいと思う。
⑧ 子供たちを虐待から守ること	・卒業研究のテーマとして児童虐待を選定しており、中四国の中で広島の児童虐待件数は年々増加している。そのため、子供が安全に暮らしていけるようにサポートを行ってほしいと思い選んだ。実際には、子供が安心できる場所の提供や、相談を気軽にできる場所の提供を行ってほしい。

ウ 子供・子育てに関して、思ったことや感じていること（自由記述）

※ 自由記述の内容については、原文を一部整理した上で、主なものを記載

回答
・家事をうまく分担することが大切。 ・子供をひとり育てるのにお金がすごくかかる。 ・将来子供を育てたいかどうかは、「子供と関わってきた機会・時間」が関係すると感じた。 ・たくさんの良い支援サービスを高校生や大学生（広島県外にもアピールする）など、早い段階でアピールすべき。 ・今の時代、A I と結婚したり一生独身でバリバリ働く人がいたりするが、結婚して子供を迎えた生活することは、人生にとって良い影響をもたらすものだと思っているため、子供を産むことや子育てに関して、子供がいることによるプラスなことを推して、子供がほしいと思う人が増えてほしい。子供がいることのプラスの例として、人生が平べったくならないことや、日々の癒し、幸福度アップによる仕事モチベーションの上昇などがあると思う。 ・子供は欲しいけれど、子育てについては経済的な面で不安を感じている。子育てにはどのくらいの費用がかかるのかはあまり想像することができなかったが、シミュレーションすることができるサイトがあり、便利だと思った。 ・まだ結婚もしていないので、子育てについて具体的なイメージを持っていない。広島に限らず全国的に子供が減少しているのが現状だと思うので、自分のような具体的なイメージを持っていない世代に対しての周知を行い、子供・子育てに対してプラスにはたらくような機会を設ける必要がある。 ・自分はまだ子育てを経験したことがなく、子育ての良い面しか見たことがないため、裏での親の努力を想像すると本当に私にもできるのかな、といったネガティブなイメージを持ってしまいがち。子供はとても好きなので、自分がもし将来子育てをする立場になったときには、周りに相談できたり頼れたりする居場所があれば、少しは不安・負担が和らぐと思った。

5 今後の対応

- ・ 意見募集の結果については、関係部局に共有し、今後の施策を検討する上での参考とするとともに、県ホームページ上で公表する。
- ・ 引き続き、県ホームページでの意見募集（次回は11月に実施予定。）や子供・若者と直接接する機会を捉えた意見募集に取り組む。